

(様式1)


所 信 表 明 申 出 書

平成27年 5月 1日

長与町議会事務局長 濱口 務 様

申出者

議員氏名

山口 憲 一 郎 

このたび行われる長与町議会 議長 ・ 副議長 (項目を○で囲む) 選挙に係る所信表明  
を志願したいので、別紙のとおり所信表明の概要を添えて申し出ます。

## 15年 副議長選挙所信表明

おはようございます。山口憲一郎です。

副議長選挙に臨むにあたり、私の考えを述べさせていただきます。

これからの町の議会につきましては、今回の選挙での議員定数削減に伴い4名少ない16名で運営して行くこととなりますので、新しくスタートする議会は、効率的で効果が期待できる体制を作ることが重要であります。さらに、それぞれの議員が定数削減の真意を真摯に受け止め、しっかりと役割を認識し、職責を全うしなければなりません。益々多様化する住民の意思を反映させ、討論を通じて町の統一的な意思に集約する努力が強く求められます。

現状の地方自治体では、全国的な傾向として、現行制度における二元代表制の元での首長(執行側)の権限が強くなっているとの指摘もありますので、一方の代表である議会の政策形成能力と行政監督機能の向上に早急に取り組まなければなりません。

執行側と議会のバランスが取れ、お互いの議論の中から適正な町の運営、将来を見越した政策の立案・実施が可能となりますので、議員の能力向上へ向けた自己研鑽と、これまで進めてきた議会改革の一層の充実・強化が必要であると考えます。

議会の改革へ向けては一昨年、議会基本条例を策定し本格的な取り組みに着手しましたが、まだまだ課題は多く、問題を残した議会報告会の改善や議員間の自由討論の実現など、積極的な議会活性化方策の実施を急がなければなりません。

私は12年間の議員活動を通じて『誠心・誠意行動する』を念頭に置いて、全力投球をしてみましたが、町の財政は厳しく行政課題も多くある中で、今こそ議会が『住民の立場に立った制度・政策』を実現させなければならないと強く感じているところです。

また、少子高齢化が急速に伸展する中で、お年寄りや子供達に優しい、住み易い長与町の実現に向けて、住民と一体になった議会活動が必要となりますが、そのためには、開かれた議会・透明度の高い議会の実現により、議会が行政をリードできる体制が必要ではないでしょうか。

今回、副議長の役割を頂けるならば、新たな議長の下にしっかりと議長をサポートし、『議会と住民・行政のパイプ機能』、『議長と議員・さらに議員間のコミュニケーション機能』を充実させ、町の皆さんが信頼できる議会、行政と切磋琢磨できる議会、そして議員が自由に論議できる議会、の実現を目指し全力で取り組む所存です。

長与町は、昨年見事に国体を成功させましたが、町民の皆さんの積極的な協力は町の一体感を強くしました。

国体については、議会も全面的な支援を行い成功の一翼を担いましたが、“協力すべきは協力し、正すべきは正す”の姿勢で、住民の皆さんの代弁者として、議会がその役割をしっかりと果たすように努力してまいりますので、ご支援を宜しくお願いいたします。

以上 所信表明といたします。ありがとうございました。